



4月9日(木)に福田小学校で第13回入学式が行われました。今年度入学したのは、男子は1名と、女子名、計10名の児童です。
8年生のお兄さん、お姉さんに手をのびてもらい体育館に入場。初めは、少し緊張した様子でしたが、おうちの人を待つと、ほにやんか笑顔を見せたりも楽しんでいました。
直接のお兄さん、お姉さんが大きな声で歌う歌を、キョトンとした表情で聞いていた新入生。また今年の入学式には、大きな声で校歌を歌う福田一子に反応していることだろう。
ブレードブレード1年生!



4月7日(火)に西郷田保育所で入所式が行われました。
1歳児4名、3歳児2名の計7名が新しく入所し、1歳から5歳まで合わせて47名で、平成20年度がスタートしました。
受け持ちの先生に名前を呼ばれ、元気に手を上げて返事をする新しいお友だちらに、みんな興味津々。緊張の気持ちを込めて、「チャ〜リアップ」の歌をプレゼントしました。
今年も、大塚木が見守る園庭に元気いっぱいの子が広がります。

みんなで初用しよう!

ご存知ですか?平成20年度より、進行してました山田地区乗合タクシーが、平成20年4月より「コトバスどんぐり号」と名称を改めて運行しています。
この名称は、山田地区の小学生100人から募集応募の中から選んだものです。しかし、利用状況は、大変少く今後の運営が難しく状態です。
今年度はのぎやけ認知して乗車利用していたく、回数を減らして見ます。
当初、山田地区の山田駅を出発して「コトバス」高田駅を経由し、高田よりコトバスにのりかえりて高田へ、高田市より他年300万円の補助金を貰って運行していましたが、利用客が大変少く年々大きな赤字状態になっています。

そうした中で色々と教育努力もして、地域の要望によりコトバス登山車道まで伸ばし、関係企業に乗車料の協力依頼をはじめ山田温泉、大塚園遊と提携、各校区の名産品等への特約製造の協力依頼もして努力していますが、利用率を高めるのに大変苦戦していることなのです。
また、福田小学校の他、山田地区の小学生の登下校にも利用してもらっています。



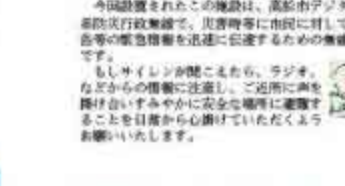
今後、高齢化の進むこの地域では、朝晩やスーパーなどへの交通機関としての役割が必要ではないでしょうか。時刻表、運行経路等と各戸に配布しています。また、乗降場所も大変分かり易くしています。
ぜひ、植田地区のみなさんに、この「コトバスどんぐり号」の初利用に、ご協力下さいたいと思います。

【運動着にインオビジョー】

コトバスどんぐり号の運転手、川上様さんです。高田市内の勤務先、集積場にお住まいで朝日町のバス会社で毎日バスを運転してきています。距離も遠いこと、朝の通勤時間一杯での出勤となり、朝は時分に眠れだか今です。
バスを利用してくださる方は高齢者が多いです。若い人にも、どんなに利用していただきたいですね。また、朝の通勤時には、笑顔で声をかけていただければうれしく思います。」と語っていらっしゃいました。
インオビジョーの調のほんの少しの時間ですが、気さくに話しかけてくださる皆さんに、この運転手さんなら、子どもたちの送迎や、高齢者の送り迎えなど、お任せして大丈夫とおもって感じました。

防災無線設置

平成20年10月の台風23号から4年が過ぎ、大きく被害した春日町を巨額の予算を投じて整備に励まされていますが、何れ大きな台風や地震が発生するかも知れません。そうした時に早く地区住民の方々に避難場所や状況を知らせる施設が、「JA西河内朝日農業会」の敷地内に設置されています。
このシステムは、市役所に設置された防災無線と、高田や、河津町等の防災無線を中心に設置した大型の受信機、13音源(内河津町に防災メイトと緊急避難システムを設置)と市役所の避難所に設置された学校、コミュニティセンターなど、304箇所に戸別受信機、市役所と消防団に直通装置を設置して、市内の防災サイレンや防災無線、伊賀市地区の防災無線、福田高田のケーブルテレビ又は高田市有線放送、FM高田との接続も可能になっており、万全な体制に整備されています。
今年設置されたこの施設は、高田市デジタル式避難所防災行政無線で、災害時でも市役所に対して、避難勧告等の緊急情報を迅速に伝達するための無線システムです。
もしサイレンが聞こえたら、ラジオ、などからの情報に注意し、ご近所の方を探かけたり安全な場所に避難所に避難することを目覚めから掛けたいくださるようお願いいたします。



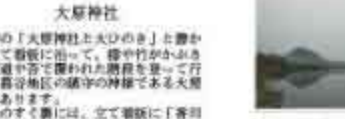
ひなまつり茶会

桜三回のひなまつり茶会が三月一日、二日、三日に西郷田コミュニティセンターにおいて、盛大に行われました。三日間を通して、愛育会の母子の皆さんや、保育所の子どもたち、小学6年生の子たちと、地域の皆さんが、おひな様を前にして、ふれ合うことができて嬉しかったです。福田小学6年生にとってほっと足早卒業茶会、保育園児さんにとってもひなまつり茶会として、初めてのひなまつりを楽しみました。自分でおひな様は、ちょっぴり苦かったけど、とても素敵な体験をしたようです。子どもたちもおひな様も喜ばげな顔に見えました。
三日には、地域の力をとお借りし、大正哥の演奏や、凡人大勢の合唱、また、今年はおひなまつり茶会による伴奏でひなまつりの歌や、懐かしい歌をみんなで行い、楽しいひなまつり茶会となりました。



西河内東の御祭日
2月28日西河内東の地元の人達により東原堂の再建立の落成式が行われました。
地元の方々の力のおかげで東原堂の再建立が実現しました。この式の中で今では珍しい「舞舞舞」が行われました。大塚園遊や高田の方々が参加して楽しんでおりました。お祝いの心が伝わりました。

東原園遊を加われば、田んぼの中からでたお稲穂で、いまでも地元の人達の病気を治してくれる大切な稲穂の土地です。東原園遊を見ていると当時の田んぼの様子が出て、いづれを懐かしむが、東原園遊を大切にしている地元の人たちの心が伝わってきます。



大塚神社
神様の「大塚神社と大ひのき」と書かれた立て看板が出て、御守や御札が揃った坂道や寺で賑わった風景を見て行く。高田地区の神様である大塚神社です。
神社のすぐ裏には、全て看板に「香川地区一帯大ひのき」と紹介されている「大ひのき」が立ちそびえています。昭和5年に「栗山神社」に祀られた、樹の高さは26m、幹回り12.8mあり、古くからその大きさに圧倒されます。
おられた時は、高田の西と東の山脈には山脈の花がまわりに咲いており、一帯の空気が爽やかに感じました。

桜三回のひなまつり茶会が三月一日、二日、三日に西郷田コミュニティセンターにおいて、盛大に行われました。三日間を通して、愛育会の母子の皆さんや、保育所の子どもたち、小学6年生の子たちと、地域の皆さんが、おひな様を前にして、ふれ合うことができて嬉しかったです。福田小学6年生にとってほっと足早卒業茶会、保育園児さんにとってもひなまつり茶会として、初めてのひなまつりを楽しみました。自分でおひな様は、ちょっぴり苦かったけど、とても素敵な体験をしたようです。子どもたちもおひな様も喜ばげな顔に見えました。
三日には、地域の力をとお借りし、大正哥の演奏や、凡人大勢の合唱、また、今年はおひなまつり茶会による伴奏でひなまつりの歌や、懐かしい歌をみんなで行い、楽しいひなまつり茶会となりました。

